

年末手当2.9ヶ月 12月10日以降準備でき次第

2009年度「年末手当」の会社回答は、以下の通りでした。

1. 支払月数は2.9ヶ月分とする
2. 支給日は、12月10日以降準備でき次第とする
3. 支給額は35歳ポイントで914,000円
4. 基礎額は35歳ポイントで315,000円

(基礎額；基本給、調整手当、扶養手当、役職手当、補償措置)

会社回答要旨

当社の第二四半期累計期間における業績は、景気低迷等に加えて5月中場から6月にかけては新型インフルエンザの影響も受け、単体の営業収益が対前年比で約90%となるなど大変厳しいものとなりました。

したがって、当社の経営環境は引き続き厳しい状況が続くことが予想されており、平成21年度通期における連結の営業収益見込みについて下方修正をしたところです。

この様な状況を踏まえ、今後とも安全安定の確保を最優先により質の高いサービスの提供を継続することを大前提として、業務全般にわたる低コスト化の徹底や効率的な業務遂行等に普段に取り組み、経営体力をさらに強化していくために全ての社員の一層の奮起が必要であるとの観点に立って、今次年末手当については2.9ヶ月分としたものです。

会社は回答の中で、営業収益見込みの下方修正を「低コスト化の徹底」「効率的な業務の遂行」で乗り切ると言わんばかりの主張をしています。

年末手当の回答も社員への「しわ寄せ」そのものであり、到底納得できるものではありません。本部は回答を受け、持ち帰り検討としました。

本部は再申し入れを検討しています。